

【質問】

0才児の運動内容や保育室内でも運動できる環境があれば伺いたい

【回答】

0才児でも生後6か月以降は特に①移動の自由を獲得する時期、また②手の自由が拡大する時期とされています。それにあたり運動刺激を与える方法の一例として①マットレスやビーズクッションなどに運動マットを被せて段差や斜面を作成し昇り降りする「山登り遊び」②筒から布がどんどん出てくる仕掛け、ゴムなど伸び縮みする素材と子どもが握るのに適した素材を組み合わせ自由に引っ張り楽しめる仕掛け、段ボール箱に穴をくりぬきボールなどを落とす「ポットン遊び」などがあります。いずれにしても心地良く安心して活動できる雰囲気をつくること、そして「できるかな？やってみよう」といった葛藤を子ども自ら乗り越えられるような大人の関わりが大切であると考えます。